

木のいえ(国産材ログハウス) ビジネスセミナー

これまでログハウスは別荘などのイメージが強く、また工法にもなじみが薄いことなどから、価格も高く特殊な工法でメンテナンスも難しいのでは、といった誤解を持たれていました。最近のログハウスは、その圧倒的な木材の使用による住空間の魅力等から住宅用のものが約8割を占めています。新築住宅の市場の縮小や消費者意識の変化等から、これからの工務店経営にとってログハウスは新しいビジネスチャンスの契機となると思います。この度、ジャパンホーム&ビルディングショーにおいて、新建新聞社の新建ハウジングセミナーの「工務店イノベーション」の中の「これからの木造住宅」で、消費者意識の変化等を踏まえた工務店のログハウスへの取り組み方等についてセミナーを開催いたします。多くの方のご参加をお待ちしております。

日程

2019.11.13 (水)
12:45 - 14:15

会場

東京ビッグサイト
西2ホール
(新建ハウジングセミナー会場)

参加費

無料

定員

100名

講師 ①



飯田 亮氏

飯田亮建築設計室 + COMODO
建築工房 代表

工務店を経て2007年に空間設計LIVEを設立。素材の強さに根差した住宅づくりのほか、その確立したスタイルを活かした工務店のモデルハウスや企画住宅などのプロデュースも手掛ける。

地元産材を利用した心地よい空間の家づくりによるライフスタイル等について講演

講師 ②



タブチ キヨシ氏

モニタージュ・ライフスタイル
ラボラトリー 主催

工務店を経営しながら、個人の住宅デザイナーとしてもSNSを中心にエンドユーザーの支持を集める。住まい手がハッピーになれる家を増やす方法を研究。工務店・住宅会社のプロデュースなども手掛ける。

SNSを通じた生活者の動向、家づくりの考え方について講演。「ワクワクキャー!の家」としてのログハウスにも言及

講師 ③



松下 勝久氏

木のいえ一番協会ログハウス部会長
(株)フェニックスホーム代表取締役
大学卒業後に入社した西武建設でログハウスに魅せられ、独学で一級建築士の資格を取得。2001年ログハウスの設計・施工・販売を専門とする(株)フェニックスホームを設立。国土交通省を2回受賞。

ログハウスのニーズ及びマーケットの変化、ログハウスビジネスへの取り組み、木のいえ一番協会とプリミティブ・ログハウスについて講演

ナビゲーター



三浦 祐成氏

木のいえ一番協会 理事
(株)新建新聞社代表取締役社長
住宅専門誌「新建ハウジング」の立ち上げから記者を担当。同誌編集長を経て、同社代表取締役社長に就任。ポリシーは「変えよう!日本の家づくり」。執筆や講演を通して住宅産業界の変革を訴え続けている。

司会進行や各講師の講演の総括のなど、セミナー全体のマネジメントを担当

主催

一般社団法人木のいえ一番協会

[お問合せ] 〒150-0045 渋谷区神泉町22-2 神泉風来ビル 2F

TEL.03-5790-6360 FAX.03-5790-6361 Mail. info@kinoie-1ban.or.jp

協賛

株式会社新建新聞社

木のいえ一番!

※このセミナーは令和元年度林野庁補助事業「顔の見える木材での快適空間づくり事業」により実施します。